

「環境」に関する論述問題 正解・解答例

1

問1 イ

問2 ア：B, イ：E, ウ：D, エ：A, オ：C

問3 (解答例)

廊下を住戸のオモテ側に配置するリビングアクセスを採用し、日当たりの良い空間にする。一方でプライバシーの問題に対処するため、廊下と住戸との間に緩衝となる植栽やポーチなどを設ける。またベンチなどのストリートファニチャーをところどころに配置する。居住者と歩行者の間で視線が交錯したり、生活空間がにじみ出ることで、路地のような空間となり、住民同士のコミュニケーションの向上が期待できる。(188字)

(採点基準)

計画の考え方が具体的に記述されていること。

特に、住戸との関係を改善し住民と歩行者との交流に言及したものや、日照、通風、緑化などの廊下の環境工学的な改善に言及したものは積極的に評価する。一方、単なる色や照明、天井高や廊下幅の改善にとどまるもの、センサーなどの装置を設置しただけのものは部分点にとどまる。

「環境」に関する論述試験 正解・解答例

2

問1

(解答例)

家庭ごみとして排出される廃プラスチックを材質別に分別するには、手間やコストがかかるから。(44字)

(採点基準)

分別・リサイクルにかかるコスト、カスケード型のリサイクルによる品質劣化などの面から適切に記述されていること。

問2

(解答例)

ポイ捨てや不法投棄を防ぐための措置を強化し、海洋プラスチックごみの発生量を減らす。また、紙や海洋生分解性プラスチックなど、海で分解される素材の開発や利用を進める。(81字)

(採点基準)

その他、地域での美化・清掃活動の推進、海岸漂着物の回収など、具体的な対策について適切に記述されていること。

問3

(解答例)

- ・リデュース：容器包装材の簡素化や軽量化 (13字)
- ・リユース：洗剤などの詰め替え容器の使用 (14字)
- ・リサイクル：再生プラスチック材料の使用 (13字)

(採点基準)

取り組みが具体的に挙げられ、適切に記述されていること。